

取付け説明書

まず始めに...

お求めになられたファイポンのアーキテクチャル・アクセントは、きめ細やかなデザインに基づいて造られており、室内外で永年にわたり美しさを保ちます。さまざまな家の装飾スタイルに合うよう、サイズとデザインを豊富に取り揃えています。また、素材がウレタンですので頑丈で耐久性も優れており、不朽の美しさを提供します。

簡単な取付け

施工方法は、ほとんど木工製品と同じ要領です。施工手順を簡略化するために、この取付け説明書を作成しました。施工前にお読みください。ファイポンの製品は簡素な建物にも優美な雰囲気を加えます。説明書のステップに順次従っていただくだけで、簡単に取付けることができます。

質問等のお問い合わせ

この取付け説明書についてのご質問は、ファイポンの技術担当者・米国 FAX (419) 445-4440 までお問い合わせ下さい。当社製品の改良に関するご意見も是非お寄せください。数多くの実演場面が見られる取付け説明ビデオも用意しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

■ ご使用についての注意事項

取付けの際には、事前に以下の点にご注意ください。

- ・ファイポンの製品の用途は装飾に限り、構造部材としては使用しないでください。(ただし、欄干システムおよびポーチ柱はこの限りではありません。)
- ・当製品は決して留め金具のみで取付けしないでください。接着効果を最大にするため、ウレタン系 PL プレミアム接着剤に非腐食性の留め金具を併用してください。
- ・当製品は修理が簡単です。木工用充填材を使って、どの大きさのくぼみや傷も手早く埋め修理することができます。破損したモールディングも PL プレミアム接着剤を使えばきれいに再接合できます。
- ・極めて高温、高湿の場所には保管しないでください。製品は取付ける前にあらかじめ設置場所の環境条件に慣らせてください。ウレタンは断熱性が高いため、これには通常 10 時間程かかります。
- ・当製品は風土条件に対する耐久性を備えていますが、表面下で黄色がかった(ペンキが塗布されていない)部分では直射日光による劣化が起こります。表面が損傷した場合には、必ず 2-3 日以内に損傷部分を接合剤で埋めるか、またはコーキングを施したり塗料を塗ってください。
- ・当製品は 60℃ までの温度に耐えられます。しかし、太陽熱を吸収して温度がかなり上昇する可能性のある防風ドアの後ろなどには決して設置しないでください。
- ・当製品は SBCCI、BOCA、CABO、NFPA の規準に従って安全に使用できます。独立した研究所による正式な耐火試験は行なわれていません。この製品の耐火性は、特に耐火仕様を施されていない他の装飾用ウレタン製品に相当します。
- ・各地域の建築規準を確認してください。地域によっては、取付け手順を調整する必要がある場合もあります。

この説明書の取付け方法は、あくまでも当製品取付けの参考にしていただくためのものです。ファイポンは製品の取付けによって生じる対人、対物、偶発または結果的に発生しうる損害に限らず、あらゆる損害に対して一切責任を負いかねます。ファイボンが自社製品の販売と取付けに関して負う唯一の責任は、当社の限定保証に限りません。

■ 仕上げのオプション

高密度のウレタン・フォームを型に入れて成形したファイポンの製品には、かび防止剤が施してあります。このかび防止のコーティングは、乾燥するに従いウレタン・フォームと一体化します。

ミルワークには、成形し縁を切り揃えた後、紫外線安定剤を混合した外装用の白色プライマーが施されます。

木材に塗布したペンキは表面がもろくなったり、剥がれたりすることがありますが、当社の製品は水を通しませんので、より長持ちします。また、腐敗や害虫に対する心配も無用です。

塗料

ファイポンの製品は塗装することができます。塗料は、良質のラテックスまたは油性ペンキをお選びください。ペンキは部材の縦方向に塗ります。通常、一回塗るだけで充分です。

ステイン

「木目／ステイン可能」の表示があるファイポンの製品には、ステインを施すことができます。ZAR™ やオリンピック・オーバーコート™ 等の良質な不浸透性のステインをご使用ください。幅5cmの天然毛の刷毛で、輪を描くようにステインを表面に塗ってから、次に木目の方向に軽く刷毛を走らせます。濃いめの仕上げをお望みの場合は、刷毛に余り圧力をかけず、厚めにステインを塗ります。一方、明るいめの仕上げは、刷毛に圧力をかけぎみにして、薄めにステインを塗ります。

■ ピラスター（柱形）

ピラスターの寸法測定：

ピラスターの高さを測定するには、階段最上段の床面またはポーチの床面からドアの上端までの間隔を測ります。ブリックモルディングが使用されている場合には、その上端部まで測ります。ドアの上に窓や欄間がある場合は、必ずその上端部までを測ります。

寸法に合わせて正確に切断：

ピラスターの適用例は様々です。そのため当社では、その高さを自由に調節できるように、2種類のピラスターを製造しています。

1. プリンスブロック付きワンピース・ピラスター

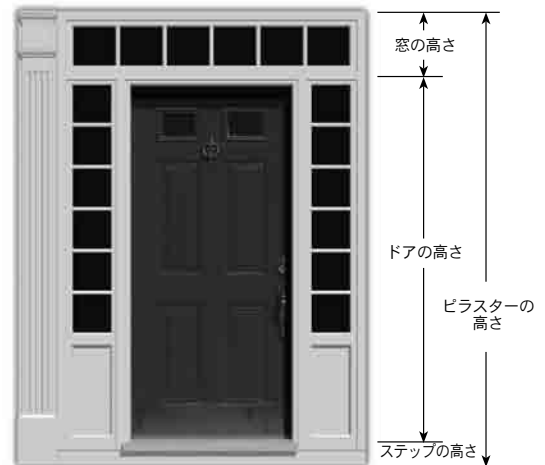
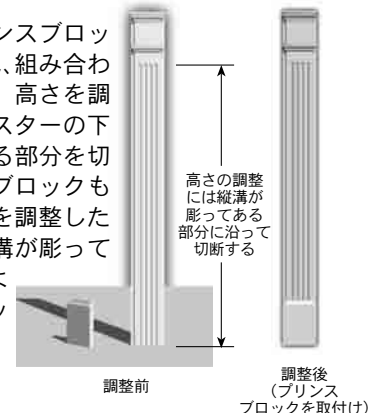
プリンスブロック（台座）とピラスターを一体化して成形されています。台座部分、即ちプリンスブロックを切断して高さの調節をします。



プリンス
ブロック

2. 調整可能なプリンスブロック付きピラスター

ピラスターとプリンスブロックは、個別に成形され、組み合わせ式になっています。高さを調整する際には、ピラスターの下部、縦溝が彫ってある部分を切断します。プリンスブロックも切断できます。高さを調整した後、ピラスターの縦溝が彫ってある部分を被せるようにプリンスブロックを取付けます。



■ ドアおよび窓のクロスヘッド（上額縁）

ドアおよび窓用のクロスヘッドの寸法を測定する場合には、底辺の幅を測り、その寸法を基に発注してください。



クロスヘッドの寸法には、下記のオプションがあります：

・ カタログの標準寸法

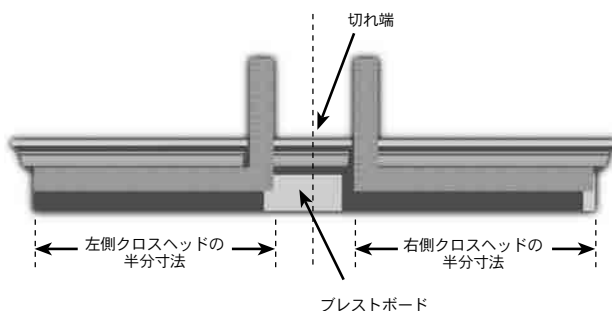
人気のある標準幅が多種揃っており、カタログからお選びいただけます。受注後、作業日5日以内に工場から出荷します。

・ 特別注文製造

当社は、24 - 144 インチ（610mm - 3658mm）の範囲で、特殊幅のクロスヘッドを提供しています。また、幅が144インチ以上288インチ以下（3658mm - 7315mm）のクロスヘッドも可能ですが、2本に分けて出荷されますので、継ぎ目を覆うためにキーストーンを取付けることをお勧めします。特別注文の製品は受注後、作業日12日以内に工場から出荷されます。

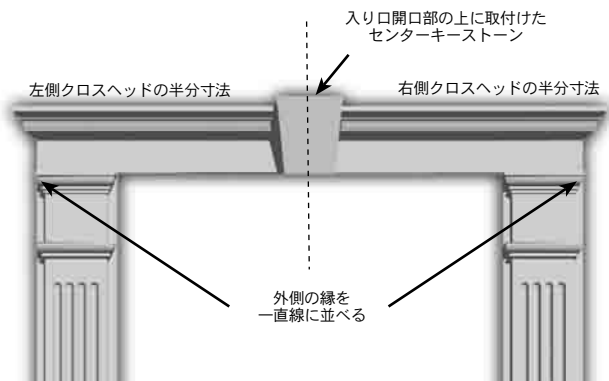
・ 現場で製作する特殊幅のクロスヘッド

1. 現場で特殊な幅のクロスヘッドを製作する場合には、まず、希望の幅より幅広のクロスヘッドを注文します。
2. お望みのクロスヘッドの幅を測定し、その測定値を2で割ります。これが、左右に取付けられるクロスヘッドの片方の幅です。次に、クロスヘッドの底辺（プレストボード）の右端から、先ほどの半分寸法を測り、フレーミング用直角定規と鉛筆を使って印を付けます。左からも同様に計って、印を付けます。これを目印に、クロスヘッドを切断します。切り取って残った中央の部分は、余分な切れ端です。

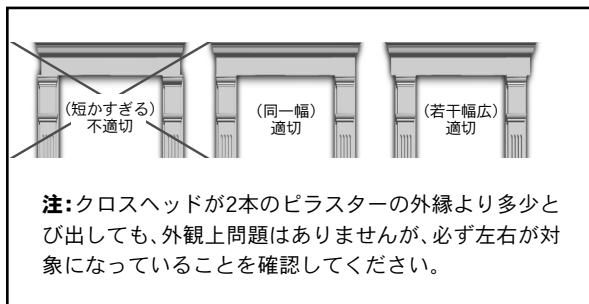


3. 入口の開口部の上に左右のクロスヘッド部材を設置し、クロスヘッドのプレストボード外側の縁が入り口開口部の端、またはピラスターの外側の端と一直線に並ぶように配置します。

留め金具とPLプレミアム接着剤を使って、各プレストボードを通してしっかりと固定します。



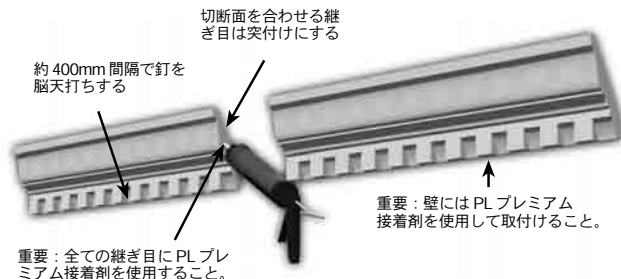
4. クロスヘッドの中央の継ぎ目は、キーストーンを開口部の中央、クロスヘッドの上に取り付けて覆います。PLプレミアム接着剤と留め金具を使って、キーストーンをクロスヘッドに取り付けます。留め金具用の穴はさら穴にし、取付け後に充填材で埋めます。



■ モールディング

ミルワークは、木工用の一般工具で切断できます。その取付け方法は、高品質の木製トリム材の取付けと余り変わりませんが、次の2点に充分ご注意ください。

- ・ モールディングのウレタン素材は合成部材ですので、高温になると膨張し、低温では収縮します。伸縮を最小限に留めるために、モールディングはできるだけ隙間なく密着させて取付けることが大切です。モールディングは、長さ約3mに対し6mmの余裕をもたせて、長めに切断するとしっかりと密着した取付けができます。また、隙間なく取付けるために、継ぎ目は全て突付けに、角では留め継ぎにします。この他に、角を「コーブジョイント」、即ち2つのモールディングの交点で留め継ぎせず、一方のモールディングの端部を他方のモールディングの形状にあわせて切断する方法で処理する手法もあります。
- ・ 取付けにはPLプレミアム接着剤のように、高品質の建築用ウレタン接着剤を使用することが大切です。しっかりと取付けるために、全ての継ぎ目およびモールディングの裏面に接着剤を施します。(継ぎ目の面を完全に覆うように施します。)



- ・ モールディングの取付けは裏板など空洞でない素材に取り付けてください。

補修の要領

- ・ 接着剤が不十分または使用せずに取付けたために、突付けした部分が発離した場合には、木製シム(はさみ木)を隙間に入れ、モールディングの表面よりやや内側に納まるように打ち込みます。このようにシムをはさむと、継ぎ目が広がり、安定させることができます。シムを入れたまま、PLプレミアム接着剤で隙間をふさぎます。乾燥後、サンドペーパーをかけ、ペンを塗り直します。

注: 分離した継ぎ目の修理は、モールディングが最も収縮する気温の低い時期に行うのが最適です。

■ ルーバー

ファイボンでは、装飾用と機能的な2種類のルーバーを製造しています。



装飾ルーバーは空気を通さない、閉鎖したスラットで構成されています。通気性がなく、装飾のみを目的とし、外壁にアクセントとして取付けます。



機能的ルーバーも同様に外壁に取付けられ、装飾効果もありますが、スラットが開いているので通気の機能があります。

機能的ルーバーを取付けるには、まずサイディング上に置いて、ルーバーの外周をたどりながら輪郭を描きます。

輪郭から50mm内側を円を描くように切り取って開口部を作ります。ルーバーは、留め金具と接着剤を使って取付けます。

■ 装飾ミルワーク

1. 取付け位置を選んで、鉛筆で印します。
2. 約6mm幅のPLプレミアム接着剤を、ミルワークの接着する部分にだけ塗ります。
3. これを目印にミルワークを位置付けます。留め金具を使用してしっかりと固定した後、留め金具部分はさら穴処理をし、外装用木工プラスチック充填材で穴を埋めます。
4. 埋めた穴とミルワークの表面が平らになるようにサンドペーパーをかけ、ペンを塗ります。
5. ミルワークとモールディングの間に隙間があれば、ミルワークの周辺にコーキングを施すこともできます。

■ 新築

樹脂、アルミ、スチール製サイディングを使用した場合の施工方法

1. 新築ではしっかり取付けられるように、ミルワークを取付ける外装の壁表面には、必ず合板またはOSBの下地材を取付けて準備します。
2. プラスターの裏面には、PLプレミアム接着剤を約6mm幅で周辺に沿って施します。(右側のプラスターは右に、といった具合に) プラスターを適切な位置に配置し、プラスターの端をブリックモールディングの上端および脇の線と一直線に並ぶように調整します。プラスターは、PLプレミアム接着剤と非腐食性の留め金具を用いて、直接下地材に取付けます。

注: プラスターを短くする必要がある場合は、必ず下を切断するようにします。プラスターの上端部は絶対に切断しないでください。(P.132 参照)

重要: 防風ドアを取付ける場合には、通常的位置に取付けられた木製ブリックモールディングにしっかりと防風ドアを固定します。しかし、防風ドアを取付けない場合には、木製ブリックモールディングを取り除くこともできます。

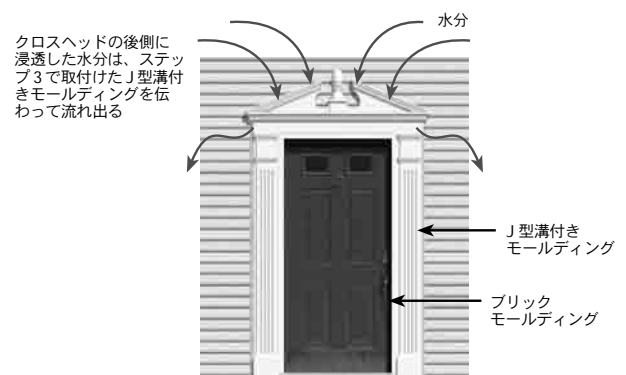
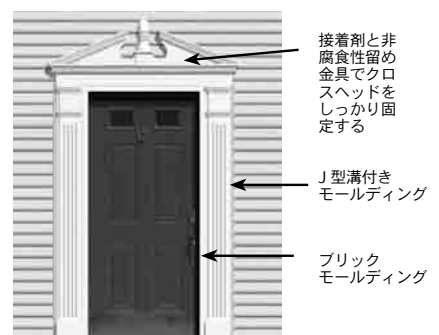
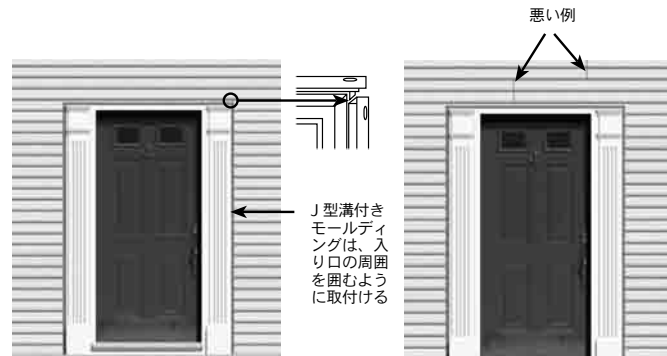
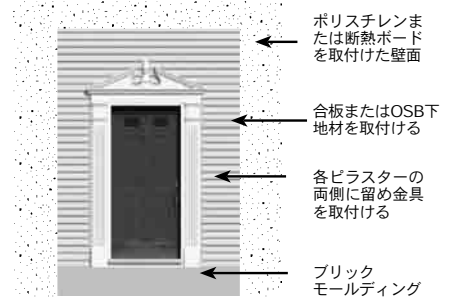
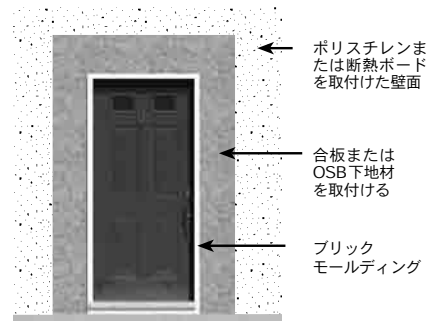
3. プラスターを取付けた後、サイディング製造会社が勧めるJ型溝付きモールディングをプラスターの横および入り口の上部に突付けで取付けます。入り口の周囲を完全に囲んだJ型溝付きモールディングにサイディングをはめ込みます。

注: 入り口の上部は、クロスヘッドを取付ける位置なので、サイディングの継ぎ目が来ないようにします。クロスヘッドの背後に水分が溜まり、継ぎ目から水分が下地材に浸透することを防ぐためです。

4. クロスヘッドなどの形状は不規則なため、それに合わせてフラッシングやサイディングを適切に切って、密着するようにはめ込むのは困難です。従って、クロスヘッドなどの部材は、裏面にPLプレミアム接着剤を塗って、サイディングの上に直接取付け、非腐食性留め金具でしっかり固定します。クロスヘッドの後ろに浸透した水分は、ステップ3で取付けたJ型溝付きモールディングを伝わって流れ出ます。

ヒント: ミルワークをサイディングの上を取付ける際には、ネジとPLプレミアム接着剤を併用することをお勧めします。

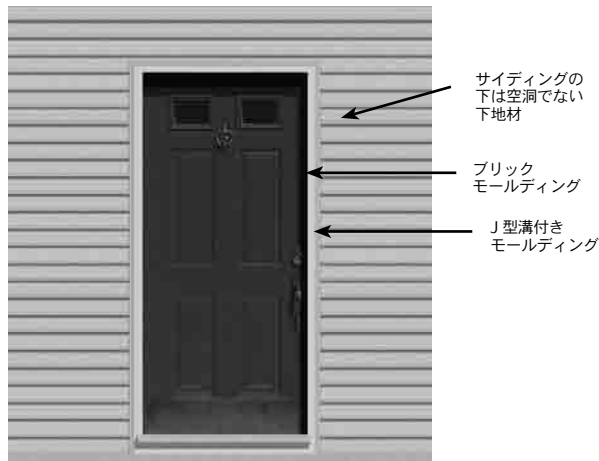
重要: クロスヘッドを樹脂性サイディングの上を取付ける際には、必ずP. 136 記載の樹脂性サイディングに関する要項をご参照ください。



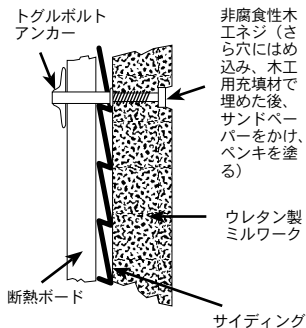
■ 改造

樹脂、アルミ、スチール製サイディングを使用した場合の施工方法

改造の際は、既設の外装サイディングの上にミルワークを取付けることができます。取付け部分の壁に適切な下地材が使われているかどうか確認してください。

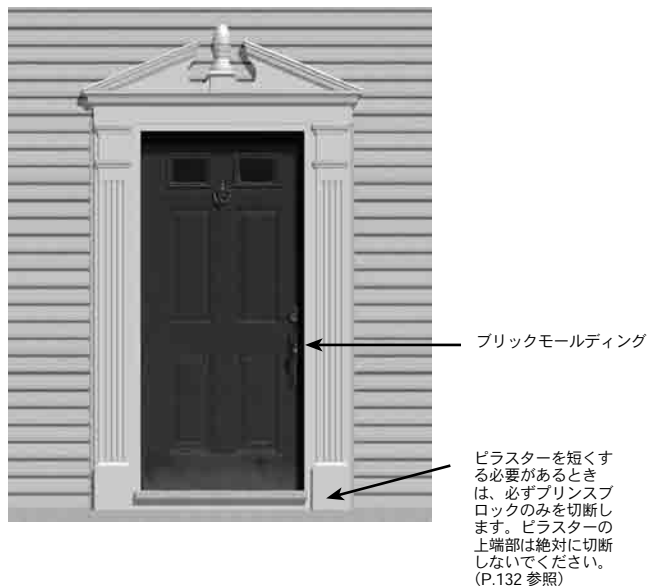


空洞でない下地材または枠部材がサイディングの後ろに取付けられている場合には、ミルワークをそこへ固定します。しかし、そのような部材が背後にない場合には、特殊な留め金具を使用してください。(右図を参照)



ミルワークは、既設のブリックモールディングと表面が揃うように、取付けることもできます。壁面にしっかり固定するために、非腐食性留め金具とPLプレミアム接着剤を併用します。

注：サイディングの上にミルワークを取付ける場合には、ネジの使用をお勧めします。PLプレミアム接着剤に加えて、ネジを併用することによりしっかりと固定することができます。



樹脂性サイディングについてのご注意

ミルワークは、既設の樹脂製サイディングの上に直接取付けることができますが、樹脂製サイディングは温度の変化に伴って伸縮しますので、ミルワークの後側でサイディングが歪むことがないように、通常の取付け手順に加えて、次のステップが必要です。

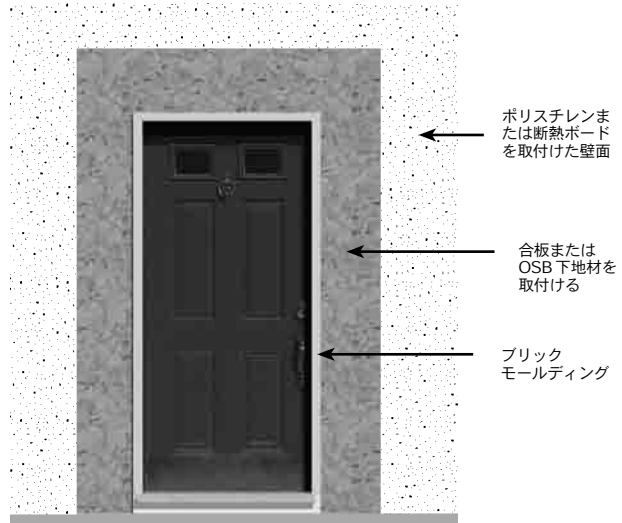
1. ミルワークを設置し、ミルワークの上から樹脂製サイディングに小さな誘導穴をドリルであけます。
2. ミルワークを取り外し、樹脂製サイディングにあけた誘導穴を、ネジの直径の約3倍になるようにドリルで拡大します。こうすることにより、固定後もサイディングが伸縮するだけの余裕ができます。

3. 水分が穴から樹脂製サイディングの後ろへ浸透することを防ぐために、サイディングにあけた穴にはコーキングを施します。
4. 次に、ミルワークの裏面に弾力性のある上質の建築用接着剤を塗ります。この種の接着剤を使用すると、ミルワークを樹脂製サイディングの表面にしっかり取付けることができ、しかもサイディングの伸縮を妨げません。樹脂製サイディングへ直接取付けるときには、弾力性のある建築用接着剤をお勧めします。
5. ミルワークをサイディングの上に再度位置付け、ドリルであけた各穴の中央にネジを挿入し固定します。さら穴にしたネジ穴は、樹脂製充填材で埋めます。そして、サンドペーパーをかけて表面を滑らかにし、ペンキを塗ります。

■ 新築

ハードボードおよび木製サイディングを使用した場合の施工方法

新築では、しっかり取付けられるように、ミルワークを取付ける外装の壁表面には、必ず合板またはOSBの下地材を取付けて準備します。

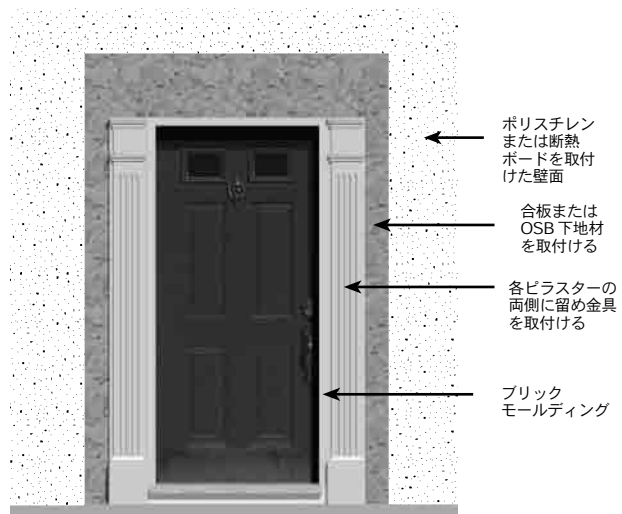


ピラスター

ピラスターの裏面には、PLプレミアム接着剤を約6mm幅で周辺に沿って施します。(右側のピラスターは右に、といった具合に)ピラスターを適切な位置に配置し、ピラスターの端をブリックモルディングの上端および脇の線と一直線に並ぶように調整します。ピラスターは、PLプレミアム接着剤と非腐食性の留め金具を用いて、直接下地材に取付けます。

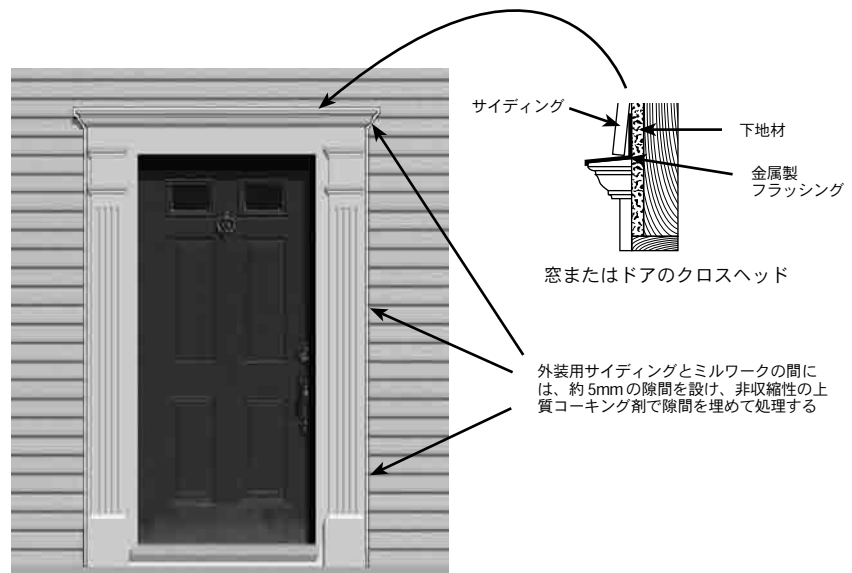
注:ピラスターを短くする必要がある場合は、必ず下部から切断します。ピラスターの上端部は絶対に切断しないでください。(P.132 参照)

重要:防風ドアを取付ける場合には、木製ブリックモルディングをそのままにしておいて、そこにしっかりと防風ドアを固定します。しかし、防風ドアを取付けない場合には、木製ブリックモルディングを取り除くことができます。



クロスヘッド

ミルワークの背後に水が浸透するのを防ぐために、建築基準に従い、窓やドアには全て水はけ用のフラッシングを取付ける必要があります。クロスヘッドの裏側にコーキングを施しても、フラッシングの代わりにはなりません。

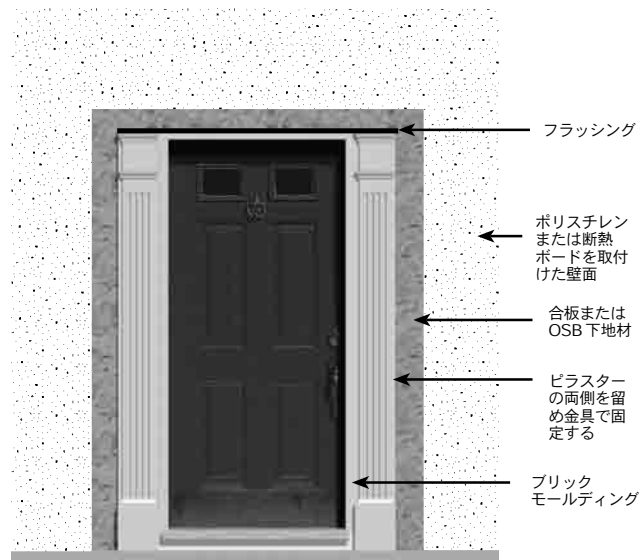


■ 不規則な形状の部材周辺へのサイディングの施工方法

ハードボードおよび木製サイディングを使用した場合の施工方法

ピラスター

ミルワークは、PLプレミアム接着剤と非腐食性の留め金具を使って、直接下地材に固定します。ブリックモールディングの上部から水が背後に浸透するのを防ぐために、ブリックモールディングおよびピラスターの上部にはフラッシングを取付けます。

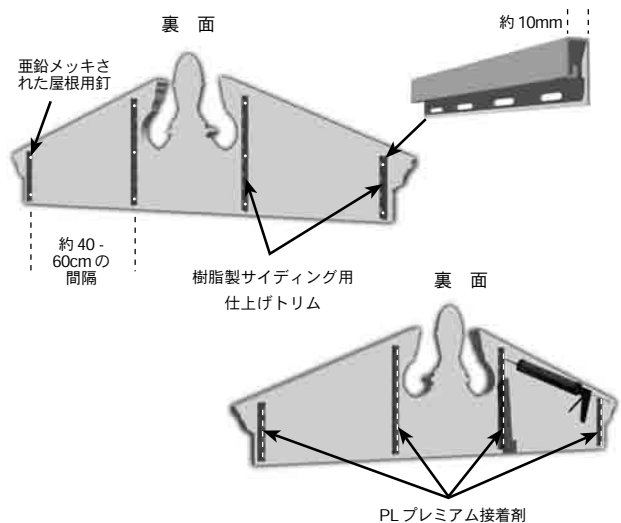


次に、外装用サイディングを取付けます。外装用サイディングとミルワークの間には、約5mmの隙間を設け、非収縮性の上質コーキング剤で隙間を埋めて処理します。



不規則な形状のクロスヘッド

不規則な形状のクロスヘッドを取付ける場合には、その背後に水分が溜まるのを防ぐために、樹脂製サイディング用の仕上げトリム帯材を縦方向に取付けることが重要です。ミルワークの後ろに水分が溜まると、ハードボードまたは木製サイディングの表面が劣化します。帯材は、PLプレミアム接着剤と亜鉛メッキされた屋根用釘を使用して、クロスヘッドの裏面に縦方向に40 - 60cmの間隔で取付けます。



水が背後に浸透しても流れ出るように、クロスヘッドはブリックモールディングの約5mm上に位置付けます。次に、PLプレミアム接着剤と非腐食性の留め金具を使って、クロスヘッドを指定の位置に固定します。

最後に、留め金具にさら穴処理をし、樹脂製充填材で穴を埋めた後、サンドペーパーをかけ、ペンキを塗ります。

ヒント: サイディングの上にクロスヘッドを取付ける場合には、ネジを使ってください。ネジとPLプレミアム接着剤を併用することによりしっかりと固定することができます。

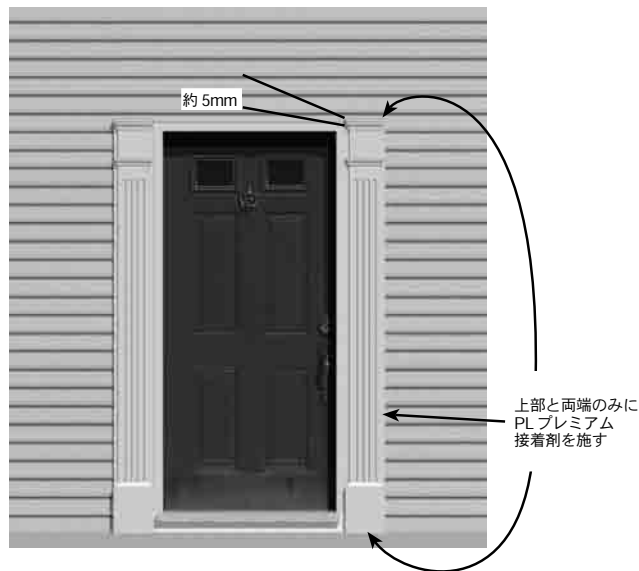
■ 改造

ハードボードおよび木製サイディングを使用した場合の施工方法

ファイポンの製品はハードボードや木製サイディングの上に直接取付けることもできます。

ピラスター

- ピラスターの取付けには、まず階段最上段の床面からブリックモールディングの上端までの間隔を測ります。ピラスターは、ブリックモールディングの上端より更に約5mm高くなるように切断します。



- ピラスターの上部と両端にPLプレミアム接着剤を施しますが、下部には塗らないようにしてください。水のはけ口を確保するため、下辺部分は接着剤で密閉しません。次に、ピラスターを位置付け、非腐食性留め金具で固定します。

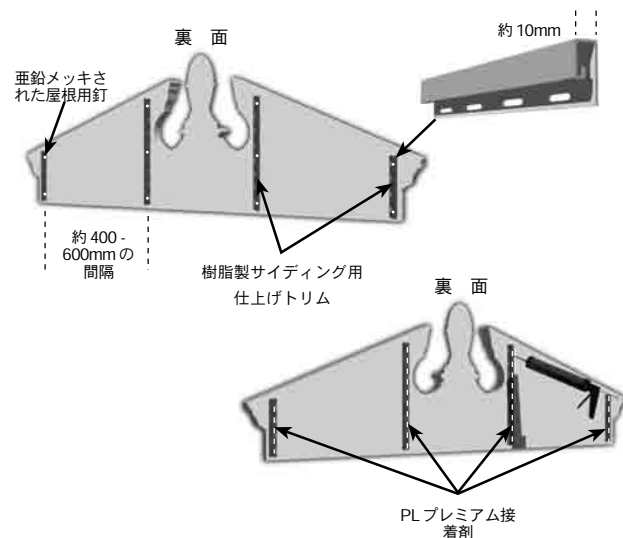
注：サイディングの上にミルワークを取付ける場合には、ネジの使用をお勧めします。PLプレミアム接着剤に加えて、ネジを併用することによりしっかりと固定することができます。

クロスヘッド

- クロスヘッドを取付ける場合には、その背後に水分が溜まるのを防ぐために、樹脂製サイディング用の仕上げトリム帯材を縦方向に取付けることが重要です。ミルワークの後ろに水分が溜まると、ハードボードまたは木製サイディングの表面が劣化します。

帯材は、PLプレミアム接着剤と亜鉛メッキされた屋根用釘を使用して、クロスヘッドの裏面に縦方向に約400 - 600mmの間隔で取付けます。

- クロスヘッドは、縦方向に装着した帯材の裏面にPLプレミアム接着剤を塗布して取付けます。



- ピラスターの真上に直接クロスヘッドを取付けます。(ブリックモールディングの5mm上に位置付けられ、水が流れ出るようになっています。)

次に、PLプレミアム接着剤と非腐食性の留め金具を使って、クロスヘッドを指定の位置に固定します。

- 最後に、留め金具にさら穴処理をし、樹脂製充填材で穴を埋め、乾燥させます。その後、サンドペーパーをかけ、ペンキを塗ります。



ヒント：サイディングの上にクロスヘッドを取付ける場合には、ネジの使用をお勧めします。PLプレミアム接着剤に加えて、ネジを併用することによりしっかりと固定することができます。

■ 合成スタッコへの取付け方法

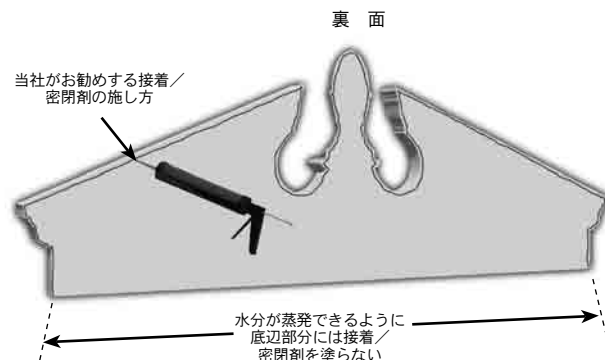
EIFS - 外装断熱および仕上げ方式

ファイポンの製品を既存の合成スタッコ (EIFS) 表面に取付ける際、ミルワークと合成スタッコ表面の間にわずかも水分が浸入して溜ることのないように密閉することが重要です。ミルワークは水分によって傷むことはありませんが、水分が長期間溜ったままになると合成スタッコの表面が痛むことがあります。

水分の問題を解決するためには、高品質の接着／密閉剤を使う必要があります。このタイプの接着／密閉剤はミルワークを合成スタッコ表面に確実に接着するだけでなく、密閉しガasketの役目を果たしてミルワークの背面に水分が浸入するのを防ぎます。

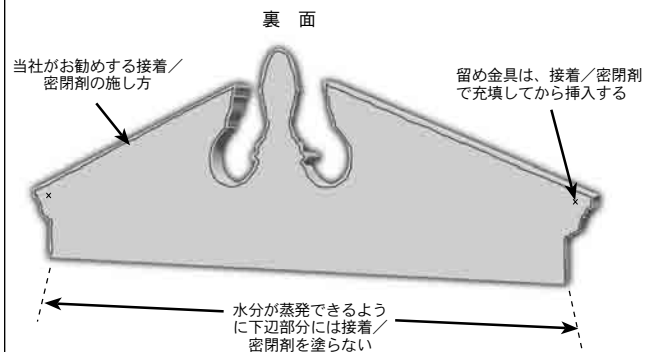
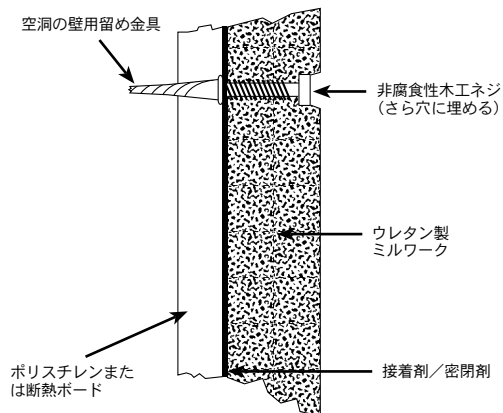
注：弾力性のある建築用接着／密閉剤の使用をお勧めします。

1. ミルワークの両端と上部の外周部分に接着／密閉剤を十分に施します。水分が蒸発できるように、底辺部分には接着／密閉剤を塗りません。

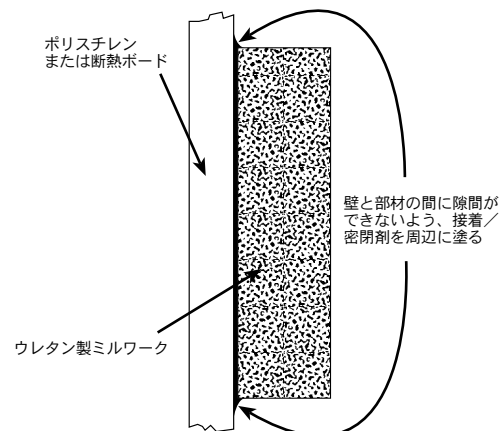


2. ミルワークを取付ける位置を決めます。空洞でない下地材または枠部材が後に取付けられている場合には、ミルワークをそこへ固定します。しかし、そのような部材が背後にない場合には、空壁用の留め金具を使用してください。(図参照)

接着／密閉剤を充填してから留め金具を挿入します。



3. ミルワークを壁表面にぴったりと密着させると、接着／密閉剤が端からはみ出てきますから、これを端全体に伸ばし、新たに接着／密閉剤を周辺に塗って、防水バリアーを形成し、十分に風雨から保護します。



■ 煉瓦およびコンクリート 表面への取付け

煉瓦またはコンクリート表面にファイポンの製品を取付ける場合は、コンクリート用留め金具とPLプレミアム接着剤を併用してください。留め金具を入れて、樹脂製充填剤でさら穴を埋めます。これが乾燥し硬化したら、やすりをかけて、塗料を塗ります。

